



①かつお節工場でかつお節の製造過程を勉強する受検者。②カツオの三枚おろしに挑戦する受検者。③講義の様子。内容はカツオの漁法や栄養価など専門的なもの。

■『第1回枕崎カツオマイスター検定』が10月8・9日に行われ、全国から108人が挑戦しました。同検定推進協議会が主催し、日本カツオ学会などが共催するこの検定は、カツオやかつお節についての正しい知識を身につけ「枕崎のカツオ」の伝道師となつてもらうことを目的に実施するもので、合格者は『枕

カツオマイスター目指し 全国から108人が挑戦

～第1回枕崎カツオマイスター検定

崎カツオマイスター』として認定されます。初日は水揚げ場やかつお節工場、カツオにまつわる史跡などを見学したあと、カツオの三枚おろしに挑戦。参加者は細長い独特の形状をした専用包丁を使い、漁協職員などからコツを教わり、悪戦苦闘しながらさばっていました。

2日目は大学教授などによる講義のあと検定を実施。問題は四択一式で70問中49問以上の正解で合格となります。受検した木原聖一朗さんは「充実した2日間だった。今回の経験を生かして地場産業の振興に貢献したい」と話していました。



市民運動会スナップ

■秋晴れとなった10月16日、第43回市民運動会が総合グラウンドで開催されました。公民館対抗リレーや綱引き、子どもたちの徒競走やマーチングドリルなど様々なプログラムに多くの市民が参加し、さわやかな汗を流しました。



全国大会遠征費を被災地に寄付

～枕崎小バレーボールスポーツ少年団

■枕崎小バレーボールスポーツ少年団が東日本大震災で中止になった全国大会（三重県・3月28日～31日）の遠征費を、予選リーグで対戦する予定だった中央台バレーボールクラブのある福島県いわき市に義援金として寄付することを決め、10月13日、神園市長に託しました。当時キャプテンだった今門璃穂さん（枕崎中1年）は「監督から中止と聞いてみんなで泣いたけど、今は少しでも被災地の役に立てればと思っています」と話していました。



おいしいサンマを食べて復興支援

～立神保育園で震災復興支援サンマ祭り

■『震災復興支援サンマ祭り』が10月15日、立神保育園で行われ、園児や学童の児童、保護者のほか周辺住民などが参加しサンマを食べて震災復興を願いました。サンマは、宮城県石巻市や岩手県大船渡市などの漁船が北海道沖で捕ったものを枕崎市漁協が千葉県の銚子港から取り寄せました。炭火で焼かれ、おいしそうな金色の焦げ目のついたサンマを園児は「おいしい。おかわり」と次々に平らげている。用意された約250匹はあっという間になくなりました。



東京枕崎会『望郷の集い』

～投稿者 東京枕崎会広報 小島芳郎さん

■東京枕崎会『第58回総会・望郷の集い』が10月2日、港区芝で開催され約140人の参加者で賑わいました。ふるさと枕崎からも神園市長をはじめ各種団体の代表にもおいていただき、「元気な枕崎」の近況報告や各分野でご活躍されている方々の紹介など、枕崎出身者として誇りに思うと同時に励みになるお言葉をいただきました。ステージでは、枕崎に所縁のあるナツメグ（歌手）、前田瑠美さん（歌手）、迫真由美さん（パントマイム）、プラスガンマ（漫才）、ちゃんサネさんが会場を大いに盛り上げてくれました。抽選会では枕崎の特産品などたくさんの景品があり参加者は大変喜んでいました。最後に今期で会長を辞任される新屋敷耕作会長から次期会長を務める橋口行則副会長の紹介があり、参加者全員で枕崎市民歌を大合唱し、橋口副会長の万歳で終了しました。そして参加者は枕崎のお土産を手に家路につきました。



稚内からようこそ 駅ホームで大歓迎

～JR日本縦断の旅 枕崎駅に到着

■JR北海道旅行が企画するツアー『列車で巡る日本縦断！途中下車＆寄り道の旅』の一行22人が10月7日、本市と友好都市へ向けた交流の進む稚内市の稚内駅を発発。列車を乗り継ぎながら南下し10月13日に枕崎駅に到着しました。たくさんの市民が歓迎する駅ホームで行われたセレモニーでは、稚内市在住で夫婦でツアーに参加した副島成夫さんが稚内市の工藤市長からの「両市が結ばれることは意味深い」という旨のメッセージを代読し神園市長に手渡すと、神園市長が稚内市長へのメッセージを副島さんに託しました。このあと、ツアー参加者はお魚センターや明治蔵、火之神公園などを巡り枕崎観光を楽しみました。

今月のラブ枕崎愛人さん
枕崎愛マークステッカーを携帯
電話や身近なものに貼って
枕崎愛をケータイしている人を紹介するコーナーです



■10月30日、新酒まつりに登場した白波五人衆のみなさん。

●投稿をお待ちしています。画像と名前（フルネーム）を添えて投稿してください。総務課秘書広報係 E-mail hisyokoho@city.makurazaki.lg.jp

▲歓迎するまくらざき保育園の園児